

ふれあいのひろば



新会長 就任挨拶

町会長 秋元 宏之



ふれあいのひろば

がわら版

平成26年7月 発行
上平間第二町会
編集責任者 久川印刷所

ぜひ、町会の活動にご参加いただき「より良い町作り」へのご協力をお願いいたします。

第一回を、十二月十五日 平間中学校にて、講師に東京大学、加藤孝明准教授及び中原区役所を迎えて、「地域の防災について考えよう」をテーマにお願いいたします。

第二回を二月一日、引き続き加藤もは地域で守るとの言葉があり、第三回を六月一日、引き続き、地域住民との行政で地域の課題を抽出、共有する。三、地域の減災に向けた地域住民による対策実施の取組み。四、住民の防災意識を喚起することで防災訓練等の参加率向上にも期待できる。

モデル地区として新たな取組みを

あります。あると言った重要な役割を深く認識し、常に自覚を持ちつつ地域の人々との連帯の糸を深める様、更に粘り強く、時には強力な指導力を発揮しなければならないと思いま

す。私は、この地域の人々と一緒に、安心し、安全に暮らせる町づくりに、励んで行きたいと思っておりました。以上、創立六十周年の

お話を述べさせて頂きました。ありがとうございました。

今後とも、第二町会の益々の発展と町会員の皆様のご健勝とご

お忙しい中、心からお祝い申します。

公助・県・市町村・国等が救助など応急活動を行う

力し、助け合う

ます。私は、この地域の皆様のこの理解とご協力を

お預け申上げます。

アミガサ事件百年の会

会長 織戸 一郎 外委員十六名

森 善一郎

誰にも危険性は知識として分か

つているが、根拠は無いけど考える人が

は大丈夫と都合よく考える人が

を改めて確認しました。尚、今

後もこれまでの成果を活かし引

き続き、第四を予定しております。

※自助・自分らの身は自ら守る

市まちづくり局支援課による、地域

の皆さんと一緒に、つながりを計画、三回にわたって防災まち

づくりを計画、三回にわたって防災まち

